

「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業 評価調書

評価方法

各事業ごとに5段階(見直し不要:5～見直しが必要:1)で評価しております。

番号	■事業名	事業の概要	R3事業実績	事業の効果についての意見等	委員評価結果							
					A	B	C	D	E	F	G	平均
1	大沼ウォーク事業	七飯町民を対象に大沼公園を楽しんでもらうためウォーキングイベントを企画・開催する。	94名の参加	<p>・事業内容を見直した方が良い。</p> <p>・事業関連性が低い、「恋人の聖地」に関連した取組を行う必要があるように感じる。</p> <p>・フォトコンテスト企画や、アニメ制作会社に打診し、聖地巡礼デートとなるような町おこし企画があればと考える。</p> <p>・過去に道の駅等で放映していた大沼のPR動画のようなものを、数年ごとに更新出来るような予算措置をして頂きたい。</p> <p>・各事業実施時に、函館七飯 Gondola・スノーパークが「恋人の聖地サテライト」として認定されたことを地元客や観光客へ積極的にPRし、七飯町の新たな魅力として情報発信を行うほか、企業や自治体で連携を図り、大沼地区の新たな観光スポットとして発展させていく事が必要ではないか。</p> <p>・交付金終了後も持続可能な無理のない事業を展開すべき。</p> <p>・映画のロケ地として誘致すれば、観光客が見込めるほか、飲食店や体験型施設、特産品等のPRに繋がるのではないか。</p>	4	3	4	4	5	3	2	3.6
2	観光PR動画作成等業務	既存の観光資源を活用した高付加価値な商品造成にむけ、七飯大沼の新たな魅力PR動画を作成	ウエディングをテーマとした動画1本の作成		5	3	5	5	5	5	4	4.6
3	観光大使と連携した特産品PR動画作成等業務	七飯町観光大使であり小説家の「谷村志穂」氏を起用し、町の特産品のうち高評価を得ているアルコール飲料をテーマとしたPR動画を作成し、誘客促進を図る。	アルコール飲料をテーマとした4本のPR動画を作成		5	2	4	5	5	5	5	4.4
4	大沼函館雪と氷の祭典	道南の冬の一大イベントとして昭和40年より行われている大沼函館雪と氷の祭典を地元自治体として負担し、伝統行事の継続とともに観光客誘客を図る。	大沼函館雪と氷の祭典負担金 6,034千円		4	2	4	4	5	3	5	3.9
5	国際交流促進管理運営事業	国内外の観光客への観光情報や体験観光メニューの提供のほか、地域交流活動を推進し、地域住民と観光客との交流を図るため、大沼国際交流プラザに対して指定管理料を負担する。	国際交流プラザ指定管理料 19,413千円		4	3	4	4	5	3	5	4.0
6	大沼周辺案内標識張替委託料	大沼周辺に設置している観光施設看板のうち、2020年10月に閉館した「留の湯」関係施設箇所分について内容更新し、町内観光施設等へ誘客促進を図る。	大沼周辺案内標識6か所を更新		5	3	4	4	5	4	5	4.3
7	ポータルプラットフォーム基盤整備事業	参画する18市町村によるシティプロモーション事業の効果を最大限発揮するため、恋人の聖地チャンネルの構築、おらが町の名物グランプリの企画、実施等を行う。	おらが町名物グランプリ 動画3本収録(郷宝、はこだてわいん、大沼ビールのPR動画) 大沼ビールが5位(全54商品)を獲得。		5	3	4	4	5	5	4	4.3
8	体験観光商品造成事業	七飯町の恵まれた自然や歴史、文化、産業などを活かしバラエティ豊かな体験ソフトを企画、運用し観光の振興や地域の活性化を図る。	モニターツアー2商品を企画し、宝島旅行社にて商品化		4	2	4	4	5	4	4	3.9
9	観光ガイド整備事業	自然散策を取り入れたネイチャーガイドを主体とした観光ガイドの整備・育成を行い、インバウンド観光に対応するとともに、新たな雇用の創出を図る。	138件294人に対しガイドを実施		4	3	4	4	5	4	4	4.0
10	観光パンフレット作成事業	発地用の誘客ツールとして観光パンフレットを刷新し、更なる観光誘客促進を図ります。	26,000部(日本語)を発行		5	4	4	4	5	5	4	4.4
11	観光ガイドマップ作成事業	体験観光や魅力的な飲食店等の情報を集約したマップの充実化、多言語化を図る。	30,000部(日本語)を発行		4	4	4	4	5	5	4	4.3